
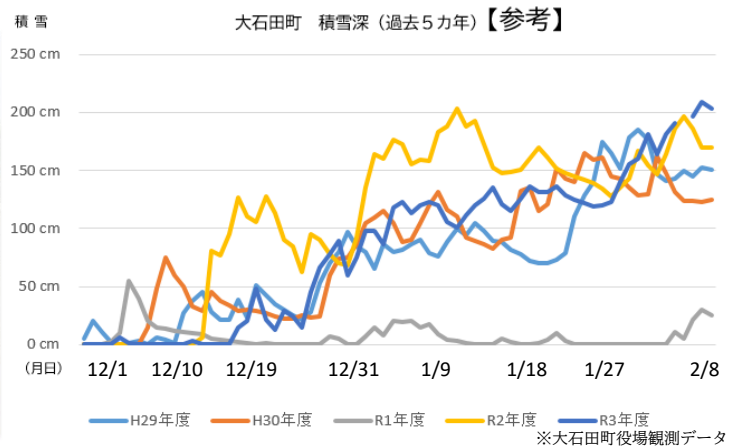


## 雪解けによる河川の増水にご注意ください！

(H25.2.26に最大279cmの積雪深を記録していますが、  
 ▼H25.4.8の融雪出水の写真です：大石田大橋)



2月に入り、例年以上の積雪となっている大石田町ですが、これから気温の上昇に伴い、雪解け水で河川の水位が上がっていきます。雨が降っていなくても、急に増水することがありますので、河川敷をご利用の方は天気予報や水位に十分ご注意願います。  
 ※雪解け時期の河川の増水を「融雪出水」といいます。  
 ※昨年度は2月16日に融雪出水がありました。



重ねてのお願いです

## 油流出事故にご注意ください！



実は、最上川水系の油流出事故が10年続けて東北ワースト1位・・・

いちばんの原因は“うっかりミス”。ほんの少し目を離した際に、ということが油事故の原因につながっているようです。ホームタンクから18ℓのポリタンクへの小分け作業時間は約2分間。その2分間気を付けてもらうことで、火災の危険や水質汚染を防ぐことができます。

油断せず、よそ見をしないを心がけ、みんなできれいな最上川を守っていきましょう！

●ホームタンク等から灯油を小分けにする際は、絶対にその場を離れないように！

●給油が終わるまで、決して目を離さない！  
 (ポリタンクへの小分け作業の時間は約2分間程度)

●ホームタンクや配管の定期点検も実施しましょう！

●屋根からの落雪でホームタンクや配管が破損しないよう、除雪はこまめに行ってください！

### 水質事故 よもやま話③「請求は2倍に！」

もし、各家庭から油が流出したら、多くの場合は・・・



県が管理している河川(丹生川、臈気川等)

国が管理している河川(最上川)

という順で、油は流れていきます。

だいたい、側溝や県管理河川に流れ出た段階でオイルフェンス等を使用して食い止めますが、漏れた量が多かったり、発見が遅れた場合は最上川まで流れてしまいます。

最上川まで流れた場合、国でもオイルフェンス等を設置します。県と国の両方で油事故の対応をした場合、その費用は県と国それぞれから請求されます！(どちらも高額になる恐れが・・・)

給油自動停止装置や防油堤の設置を検討し、冬の心配事を少しでも減らしましょう。そして、万が一油を漏洩させた場合は早めの通報をお願いします。



※消防署・警察署・市町村役場・県の各総合支庁・国土交通省へ連絡をお願いします。



暮らしに役立つ豆知識

### 一級河川とは？



Q1. よく「一級河川〇〇川」という看板を見かけるのですが、一級河川とは何ですか？

A1. 一級河川とは、私たちの暮らしを守り、産業を發展させるうえで特に重要な関わりを持っている水系(一級水系)のうち、国土交通大臣が指定した河川のことを言います。

最上川は一級河川に該当し、日本でも有数の大河川です。また、最上川に流入する河川(「支川」といいます。)も一級河川になります。(例:丹生川、臈気川)

Q2. 一級河川は、全て国が管理しているのですか？

A2. 基本的に国が直接管理しますが、一部区間の管理を県に委任しています。大雑把に言うと、最上川本川は国、支川は県、とさせていただけると結構です。

Q3. 二級河川もありますか？

A3. 二級河川とは、一級水系以外の比較的流域面積が小さい水系(二級水系)のうち、県知事が指定した河川のことを言い、管理も県になります。他にも市町村が管理する準用河川や普通河川(河川法に基づく指定を受けていない小河川)などもあります。

## 堤防の除草や樹木の伐採をします！

- ・除草することで、堤防の機能を保ち、状態を詳しく把握することができます。
- ・河川敷の樹木を伐採し、河川の見通しを確保し、増水時には川の流れを邪魔しないようにします。



堤防の除草



樹木の伐採・搬出

## 災害対応をします！

- ・増水時や地震の際には、管内を回り状況把握を行います。
- ・排水ポンプ車を出勤させ、内水（田畑や住宅側の水）の排水作業をします。
- ・堤防に亀裂等があれば、緊急に応急復旧します。



排水ポンプ車出勤



被災箇所への応急復旧



## 他にもこんなことをしています！

転落防止柵や看板の補修、蜂の巣の駆除等河川の管理に必要なことは何でも行います。



## 最終回

# 工事の気になるアレコレを紹介

## 最上川中流 大石田地区維持工事

施工会社：(株)新庄砕石工業所

### 維持工事とは？

こまごま 堤防除草や、日々の細々とした作業をしてくれる、**緑の下の力持ち**です。(彼らがいないと私たちは本当に困るのです！)

## 水質事故の対応もしています！

油などの流出事故が発生したときは、下流への流下拡散を防止するために、オイルフェンスやオイルマットを設置します。



杭を打ち込みフェンスを張る



油を吸着するマットを設置



## ・・・現場代理人・矢口さんにインタビュー・・・



R1.10.14 宮城県村田町での支援

災害対応については、現場にいる方しか分からない苦労が伝わるお話をした。矢口さん、お忙しい中、ありがとうございました。

**Q** 最後に、モチベーションを維持するためにやっていることは？  
**A** 休日の晴れた日はツーリングやドライブをしたり、冬は除雪で体を動かした後に美味しいお酒を飲んだりと心身共にリフレッシュしています。

**Q** やりがいを感じる時はどんな時ですか？  
**A** 何もなかったところから図面どおりに作り終え、工事が無事に完了したときです。

**Q** 普段気を付けていることや現場で心がけていることは・・・  
**A** 一日の作業を無事に終わることが出来るよう「安全」に配慮しています。

**Q** 他にも、これまでの作業の中で、特に印象に残っている出来事などありますか？  
**A** 令和元年10月の台風19号に伴う災害支援で、宮城県と福島県に出勤した際、半月の間戻ってこれなかった事です。

**Q** 河川の管理を行うことで、特に大変な作業はどんな事でしたか？  
**A** 河川が増水したときの出水状況把握と内水排除等作業、災害時緊急作業です。特に令和2年7月豪雨では、昼夜問わずの作業となったため、交代要員の確保や安全管理の面で苦労しました。

【発行】  
 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所  
 (担当:三戸・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鶯の原466-2  
 (TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。

ホームページもご覧下さい！  
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

新庄河川

検索

